

のり養殖通報第2報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成29年9月27日発行

間もなく本格化する育苗開始に向けて水質観測結果を中心に構成しました。

[海況] 湾奥部を除いて栄養塩は極めて低レベル

○ 9月25～26日の観測では、千葉県沿岸（盤洲～富津）でスケルトネマ等の小型の珪藻が増加し透明度が低下していた。その影響で表層の栄養塩は湾奥部を除いて窒素リンともに極めて低い値に低下している。

表層水温は概ね23～24℃台、塩分は29～31台で特に問題の無い値であった（表1）。

○ 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では水温は9月15日以降の気温低下に伴い23℃台に降下したが、台風18号が通過した18日以降は再び上下変動が大きくなり23～24℃台で推移している（図1）。

[今後の留意点] 栄養塩の回復、水温降下のタイミングを見極めて

○ 栄養塩の回復と適水温（23℃）からの低下傾向のタイミングに合わせて育苗を開始することが漁期最初の重要なポイント。

○ 現状の栄養塩量は健全な種網育成に支障が出るような低レベル。植物プランクトンの減少と栄養塩の回復を見極めて育苗を開始してください。

○ 気象予報では、気温は平年をやや上回る高め基調で推移すると予報されており、水温も停滞継続が懸念されます。

○ 水産総合研究センターでは10月2日に東京湾全域の水質観測を実施し、栄養塩分析終了後、速やかに調査結果をお届けする予定です。育苗開始時期の検討に活用してください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
次回は10月4日頃発行します。

表1 水質観測結果(内湾9/25, 内房9/26)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	23.6	29.1	8.3	3.3	302	45
盤洲Cブイ	24.4	29.6	8.7	1.8	4	8
盤洲Bブイ	24.6	29.6	8.7	2.2	5	8
盤洲Aブイ	24.3	30.2	8.7	1.8	59	13
富津ベタ	22.7	31.4	8.3	2.5	52	9
2海ほ下	22.4	31.2	8.4	2.8	6	6
1海ほ下	23.1	31.9	8.4	2.5	6	6
下洲ベタ	23.1	31.7	8.5	2.5	4	6
大貫ベタ	22.9	31.3	8.5	2.7	3	5
湊ベタ	23.1	31.8	8.5	2.5	3	4

※ノリの健全な生育や高色調の保持に必要な目安＝窒素110，リン8

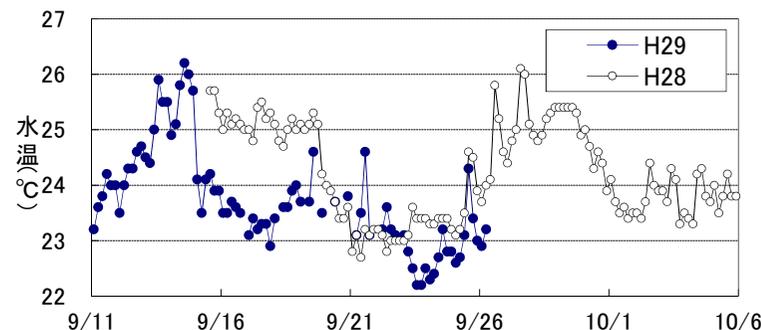


図1 昨年度と今年度の水温の比較(新富津観測ブイ)